

「ランピースキン病」の発生リスクが高まっています

対策の継続的な取り組みをお願いします！

感染の原因となる吸血昆虫の活動が活発な時期となりました。
感染が拡大すると出荷自粛等、経済的な影響が大きくなります。
発生予防の対策と、病気の伝播を防ぐ対策として
以下の**3つのポイント**について継続的な実施をお願いします。

対策ポイント①

✓ 毎日の健康観察と疑い事例が確認された場合の早期通報

疑われる牛は隔離、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に相談



皮膚の結節

※ 泌乳量の低下、発熱、鼻汁、リンパ節の腫大などもみられます

対策ポイント②

✓ 人による感染拡大防止

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる人の対策の徹底

- 農場ごとに衣服、長靴（ブーツカバー）交換
- 注射針、人工授精用器具等は一頭ごとに交換又は消毒
- 聴診器等、皮膚に接触する器具の消毒

対策ポイント③

✓ 吸血昆虫対策（主にサシバエ対策）

幼虫対策は、堆肥化処理とIGR剤の散布

※九州農政局資料を一部改変



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで

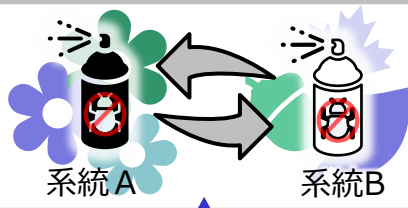
※九州農政局資料を一部改変



地面や床から2mは防虫ネットで覆えるようにしましょう！隙間や穴がないか確認を！牛舎周辺の下草刈りも実施！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤は3～4か月ごとに
ローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

車両がウイルスを運ばないために

➤ 農場に出入りする全ての車両は洗淨・消毒、殺虫を徹底！

➤ 車内に入り込んだサシバエ等も、確実に殺虫！

イエバエやサシバエは夏も冬も車内によく侵入してきます。そして新しい場所へ移動します。

資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバエ等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！



車体に
集まったハエ

中央家畜保健衛生所 TEL0957-25-1331

県南家畜保健衛生所 TEL0957-68-1177

県北家畜保健衛生所 TEL0956-48-3831

五島家畜保健衛生所 TEL0959-72-3379

壱岐家畜保健衛生所 TEL0920-45-3031

対馬家畜保健衛生所 TEL0920-54-2179

異状発見時は直ちに最寄りの家畜保健衛生所へご連絡ください。休日・夜間もつながります。